

志岐高便り

第185号

発行責任者
平山 啓一



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[TEL]0920-47-0081

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言



「2年分の甲子園 思いを込めて」

教頭 寺田五男



今年は、新型コロナウイルス感染防止のため、臨時休業や高総体・各種コンテストなどが中止となり、マスク着用など新しい生活様式での生活を強いられた一年でした。しかし、野球部県大会ベスト8、陸上部・美術部・書道部・放送部の九州大会出場、ヒューマンハート探求部の消費者庁長官賞、東アジア歴史・中国語コースでは、歴史学コースの奈良大学主催「全国高校生歴史フォーラム」で知事賞（全国2位相当）、中国語コースの各種スピーチコンテストで上位入賞を果たすなど、コロナ禍で練習が制限される中、活躍が続きました。また、感染防止に努めながら、体育祭、文化祭、校内マラソン大会などの学校行事も無事実施することができました。生徒の皆さんが活躍する場面を目にして、うれしく思いました。

保護者の皆様には、これまで本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましたことに深く感謝申し上げます。次年度も、本校がますます発展するよう、そして生徒一人ひとりにとって一層充実した年となるよう願っています。

1 「2年分の甲子園 思いを込めて」

第93回選抜高校野球大会が2年ぶりに開催され、その開会式で仙台育英高校の島貴丞主将が選手宣誓を務めました。

【選手宣誓全文】

今日ここに、高校球児の憧れの舞台である甲子園が、戻ってきました。この1年、日本や世界中に多くの困難があり、それぞれが大切な多くのものを失いました。答えのない悲しみを受け入れることは、苦しくてつらいことでした。しかし、同時に多くのことを学びました。当たり前だと思う日常は、誰かの努力や協力で成り立っているということです。『感謝』。ありがとうございます。これは出場校すべての選手、全国の高校球児の思いです。『感動』。喜びを分かち合える仲間とともに、甲子園で野球ができることに感動しています。『希望』。失った過去を未来に求めて。希望を語り、実現する世の中に。そして、この3月で東日本大震災から10年となりました。日本、世界中に多くの協力や支援をいただき、仲間を支えられながら困難を乗り越え、10年前、あの日見た光景から想像できないほどの希望の未来に復興が進んでいます。これから10年。私たちが新しい日本の力になれるように、歩み続けます。

春はセンバツから。穏やかに鮮やかな春、そして1年となりますように。2年分の甲子園。一投一打に多くの思いを込めて、プレーすることを誓います。

2 「時間の管理をする」

時間とはどのような性質を持つのでしょうか。第一に「全員に平等に与えられている」、第二に「お金などと違って蓄えることができない」、第三に「浪費しているという認識が薄い」などです。

それではどうすればよいのでしょうか。それは時間を記録する、整理することです。そしてやめるまたは減らすことを決め、生み出された時間を「集中すべきことに使う」ことです。つまりどこが無駄な時間なのかを明確にし、その時間をやるべきことに有効活用するということです。

万人に平等に与えられた時間の使い方が学習や部活動などの成果を決めるものです。つまり時間の使い方を望ましい方向に変えること、改めることが皆さんの成長をより一層促進させるものです。この機会に時間の使い方について自分の現実をしっかりと分析し、改善すべきことを整理し、自由に使える時間が比較的豊富にあるこの時期だからこそ『校訓 自律』の精神を生かし、新学年の充実のために有意義な日々を送ってください。

第 2 学 年 よ り

73回生が卒業を迎え、吉崎高の伝統を引き継ぐ襷が74回生に手渡されました。学習面や学校行事、部活動や生活面に至るまで多くの場面で先輩の背中を追いかけていた状態から、吉崎高校を牽引する立場へと変化の時期を迎えています。学年全職員が、「人財（自分で考え、成果を上げる人材）」へとレベルアップをできるように生徒へ働きかけていきます。

さて、春季休業期間には、「本物の受験生」としての過ごし方が求められます。一人一人がテーマを持って、有意義に時間を使い、新年度を迎えることを期待しています。

保護者の皆様、この一年間も様々なことでご理解、ご協力をいただきまして誠にありがとうございました。次年度はいよいよ3年生となり、「進路実現」という目標に向かって突き進んでいきます。これまで同様、ご家庭での手厚いサポートをお願いいたします。年度末のお忙しい時期を迎えていらっしゃる方も多いこととお察しします。どうぞくれぐれもご自愛ください。

第 1 学 年 よ り

この冬は随分冷え込みましたが、日に日に暖かくなってきました。

75回生の皆さんは、授業や部活動など、主体的な取組が見られました。今年度は新型コロナウイルス感染予防に努めながら、様々な行事が実施されました。特に文化祭での発表はどのクラスも工夫された演出で素晴らしかったです。次年度は新入生を迎えて中堅学年としての自覚が求められます。

春休みは新学年へ向けて、学習面で復習ができる大切な時期です。生徒の皆さんは学習習慣や苦手な分野を見極めて、学び直しを行い、次年度よいスタートがきれるよう取り組んで欲しいと思います。また、この時間を通して、学部学科研究や志望理由書作成を行い、自分の進路について再度考えを深めてください。

保護者の皆様、ご来校いただく機会が少ない中、様々な形で手厚いご支援いただき有難うございました。次年度も、お子様が元気に登校できますよう、引き続きご協力宜しくお願いいたします。

～ 覃先生コラム 『 再 見 』 ～

この一年間は、私にとってとても特別な人生経験となりました。前任の中国人講師とは友人だったので、吉崎高校のことはずっと前から知っていて、ここに来ることを楽しみにしていました。その後、面接を経て日本に来る機会を得て、これから始まる仕事にしばらくは緊張していました。しかし、コロナの影響で行けなくなってしまいました。8ヶ月という長い時間をかけて、12月ようやく日本に来ることができました。

私はのんびりとした生活と、海や山の景色が大好きです。みんなと出会い、一緒に中国語を楽しむことができてよかったです！海の向こうでスクリーン越しに会う日々も、今のように面と向かって交流する日々も、全部一期一会の幸せです。この4ヶ月は夕日を何度か見たり、海風が吹いたりして終わったようでした。とにかく、一年間本当にありがとうございました！またいつかどこかで会いましょう！我们后会有期！



卒業式

3月1日(月)本校で第73回卒業証書授与式が行われました。会場の体育館には卒業生とその保護者が入り、在校生は各教室にて遠隔でその様子を視聴しました。73回生はコロナ禍に最も翻弄されながらも、それに負けることなく高校生活をやり遂げた回生でした。そのことが、式中での堂々とした振る舞いに表れていました。

73回生のみなさんの今後の活躍を期待しています。



1	木	
2	金	入学予定者OR 部活動紹介
3	土	
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	クラス発表 始業式 入学式 学年PTA① 入市式 前期学級自治委員選出(～12日)
9	金	面談 老岐高テスト①②③ 容儀指導 離島留学生集会 第1回コース交流会
10	土	スタサポ① 学校開放 第1回公務員・就職模試(実教)③ 公務員セミナー③
11	日	
12	月	面談 校内研修① 老岐高テスト③
13	火	面談 校内研修①
14	水	面談 校内研修① 写真撮影① 尿検査一次①
15	木	面談 身体測定・スポーツテスト① LHR(前期学級自治委員任命式・虹の原対面式)
16	金	面談
17	土	
18	日	
19	月	部活動入部集会 内科検診②
20	火	
21	水	内科検診②
22	木	LHR(生徒会議案書検討1/2) 各種専門委員会 耳鼻科検診①
23	金	文化祭実行委員会公募締切
24	土	学校開放
25	日	
26	月	
27	火	尿検査二次①
28	水	歓迎遠足 文化祭実行委員会
29	木	【昭和の日】
30	金	歓迎遠足予備日 考査時間割発表 老岐高座談会





今年度離退任される先生方 ありがとうございました!



平山 啓一	校長	高比良 淳朗	事務長	寺田 紀美子	国語	桑野 雅嗣	美術
	長崎北高校へ		小浜高校へ		3 - 2 副 書道・写真 島原翔南高校へ		3 - 3 副 美術 佐世保北高校へ
濱栗 啓吾	英語	佐々木 愛	英語	沖田 佑介	数学	萩原 有未	体育
	3 - 1 副 英語・柔道 長崎北陽台高校へ(教頭)		2 - 1 担 吹奏楽 長崎西高校へ		3 - 4 副 バスケットボール 佐世保北高校へ		2 - 5 担 バレーボール 大崎高校へ
原口 豊史	理科	野下 あずな	国語	松田 沙奈	国語	杉本 麗奈	英語
	3 - 3 担 野球 大村高校へ		2 - 2 担 放送 長崎北高校へ		3 - 5 担 放送 佐世保西高校へ		1 - 1 副 ソフトテニス 大崎高校へ
城下 駿太	地歴公民	井元 玲央	数学	覃 荟庚	中国語	大岡 美喜	事務
	3 - 5 担 剣道 長崎東高校へ		1 - 5 副 陸上競技 長崎東高校へ		2 - 5 副 上海外国語大学へ		対馬市立仁田小へ
村井 祥子	事務	<p>この度の人事異動で17名の先生方が壱岐高校を旅立たれます。 今までありがとうございました。先生方のご健勝、ご多幸を祈念いたします。</p>					
	壱岐市立八幡小へ						

東アジア歴史・中国語 コース

2月27日に第3回コース交流会で3年生の送別会を行いました。そして、3月1日の卒業式を終えた午後、3年生の離島留学生との最後のお別れ会を、印通寺港と郷ノ浦港で行いました。壱岐を旅立つ3年生へ、各里親宅ごとに在校生がエールを切って激励しました。卒業生の皆さんのこれからの活躍を祈るとともに、輝かしい記録を数多く打ち立てた3年生に、在校生の皆さんも負けないようにがんばりましょう!!

